

住民意識調査の結果を報告します

住民意識調査とは、町民の皆さんのまちづくりに対する考えをお聞きし、町政運営の参考にすることを目的としたものです。

この調査は昭和54年から1年おきに実施し、今回で22回目となります。18歳以上の町民2千人を無作為抽出し、1,408人（回収率70.4%）から回答をいただきました。主な結果について報告します。

施策の満足度 トップ3

順位	項目
1位	消防・救急体制の充実
2位	健康づくりの推進
3位	上水道の整備

施策の重要度 トップ3

順位	項目
1位	交通安全・防犯対策の強化
1位	医療体制の充実
3位	消防・救急体制の充実

* 1位は同率

「第6次幸田町総合計画」に挙げられている施策について、現状の施策の満足度と重要度を尋ねました。

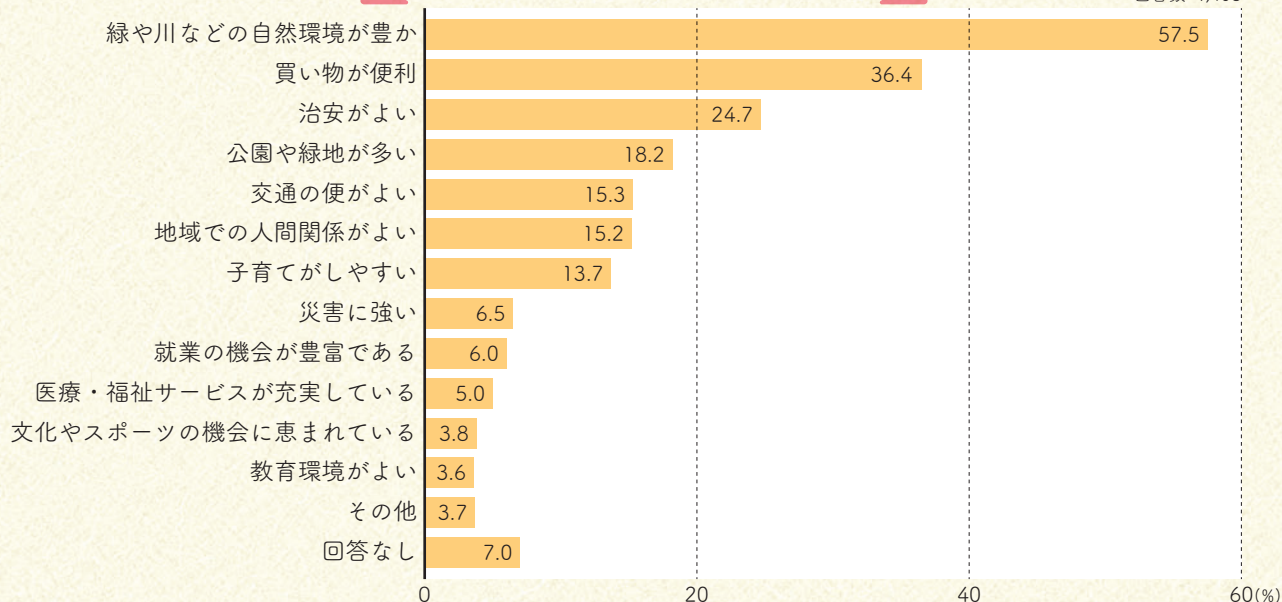
重要度は高いが、満足度が低い項目

項目	町の方針や取組状況
医療体制の充実	医療機関の誘致は重要であり、これまでに、大草地内の医療機関の誘致などを行ってきました。近年においても交渉はしています。特に町内に出産できる施設がないため、産婦人科医院の誘致に向けて働きかけなどを行っていますが、産婦人科医はなり手が少なく、開業まで至っていないのが現状です。今後も引き続き努力していきます。 また、自宅で介護と医療を必要とする人が、住み慣れた地域で自分らしく過ごすことができるよう、在宅医療の支援体制の構築を推進していきます。 医療機関への移動支援として、「JR相見駅と藤田医科大学岡崎医療センターを結ぶ「藤田乗合直行タクシー」」を運行しています。
交通安全・防犯対策の強化	交通安全意識の向上とマナーアップを呼び掛けるとともに、施設整備を充実させ、交通事故の減少に努めます。また、各種団体などとの連携強化や防犯カメラなどの整備、特殊詐欺被害未然防止の啓発などを通じて、犯罪被害のないまちを目指します。
防災体制の強化	24時間まちの安全を見守り、防災啓発・普及活動などを推進する「安全テラスセンター24」を組織し、家庭や地域の防災活動を支援します。また、6小学校、3中学校、1高校にそれぞれ防災備蓄倉庫を設置しています。現在、スポットクーラーやストーブなどの備品を整備しています。
子どもの居場所の充実	待機児童ゼロに向けた取り組みとして、保育園では、民間小規模保育事業所の開設を推進しています。児童クラブでは、民間委託の導入や支援員の年齢拡大、既存クラブの整備や増設により待機児童を解消しました。また、ちびっ子広場や児童遊園などの施設を定期的に点検し、適正な管理を通じて子どもの遊び場・居場所の確保に努めています。
ごみ問題への対応	生ごみ処理容器などによるごみの減量化やリサイクル可能な資源ごみの分別収集の徹底を広報しています。また、クリーンパトロールの強化、ごみ出しマナー向上カメラによるごみの不適切排出の抑止、食品ロス対策であるフードドライブを実施することで、ごみの減量化・資源化を推進していきます。

幸田町のよいところ、悪いところについて尋ねました

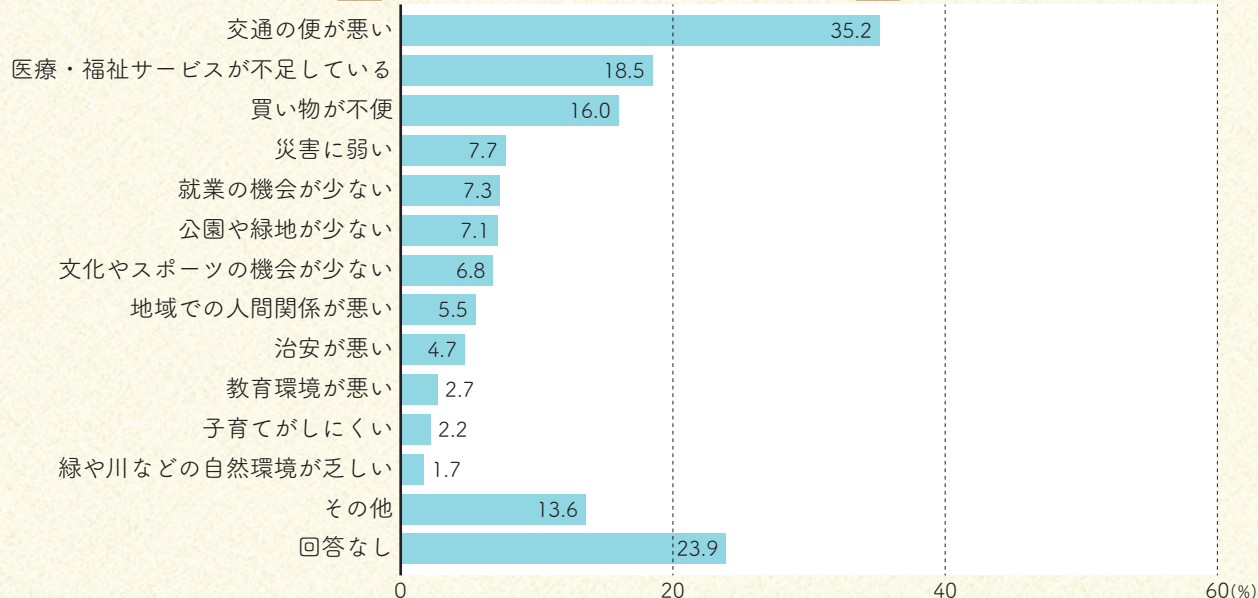
幸田町のよいところ

回答数：1,408



幸田町の悪いところ

回答数：1,408



* 複数回答のため合計が100%になりません。



「意見」(抜粋)

災害への備えがどれくらいできているのか、定期的に情報発信してほしい。

災害への備えは、備蓄や施設整備、情報伝達、防災体制など多岐にわたっています。取り組み組んでいる防災対策については、広報などで随時発信していきます。また、防災週間などに合わせ、災害への備えについて周知していきます。

歩道の整備を充実させてほしい。

交通量の多い幹線道路や、歩行者の多い路線、通学路など優先度の高いところから順次整備を行っています。用地取得が難航しているところもあります。現在12カ所で歩道を含めた道路事業を行っています。

三ヶ根駅の利便性、安全性を高めてほしい。

バリアフリー化を推進するため、エレベーターの設置に向けて準備を進めています。また、西口の防犯カメラは令和3年3月に更新し、売店の室内と休憩所へ新たに2基のカメラを設置しました。東口の防犯カメラについても順次、更新していきます。

幸田駅前のロータリーの整備、拡大を希望する。

すぐに整備、拡大することは難しいですが、駅前駐輪場の南側に、現在のロータリーとほぼ同じ大きさの第2ロータリーを整備します。



えこたんバスを朝と夜、土日も運行してほしい。

えこたんバスは町の運営・維持管理による直営で運行しています。各コースの増便、土日運行などは現状では困難ですが、利用者のニーズなどを踏まえ、専門業者による委託に変更するなど、交通関係会議で課題として提案し、検討していきます。



自然が多く残っていて気に入っている。これからも自然豊かなまちを維持してほしい。

豊かな自然環境はまちの魅力であるとともに、まちの財産でもあります。これからも住民、事業所などと協力しながら、この環境を次代へ引き継いでいけるよう努めていきます。



街灯を増やしてほしい。

防犯灯については、区から要望をいただき、現地確認の上、対応していきます。

ごみ当番の負担が重い。

ごみの資源化にはルールとマナーの徹底が重要であり、当番をお願いしています。忙しい時間帯にご負担をおかけしますが、今後もごみの減量化・資源化の推進のため、ご協力をお願いします。

**各学区に児童館を造ってほしい。**

6小学校区に1つずつ児童館を設置する構想があり、現在、児童館のない坂崎と幸田の2小学校区に建設を検討しています。

車を運転できなくなった高齢者のために**交通手段を考えてほしい。**

令和元年度から、新たな交通手段として、次の2つの社会実験を実施しています（社会実験のため無料で運行しています）。

● 相見駅と藤田医科大学岡崎医療センターを結ぶ「藤田乗合直行タクシー」

● エリアを豊坂小学校区に限定し実験中の、デマンド型乗合タクシー「チョインコこうた」

*デマンド型とは、停留所間しか移動できませんが、希望する時間に、希望する停留所から希望する停留所へ移動できるものです。

今後も車を運転できなくなった高齢者のための交通手段を調査検討していきます。

**地区の行事が多すぎる。**

地区の行事は、地域の皆さんの交流の場として重要な役割を果たしている上、安全・安心な地域づくりのきっかけともなっています。社会情勢や地域の特性に合致した行事のあり方について検討していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

広報こうたの無線が聞こえにくい。

防災行政無線は役場本庁舎から電波を発出しています。建物の構造や自然環境により聞こえづらい場合は、防災ラジオやこうたタウンメールの併用をお願いします。

**町の施設の使用申込みがインターネットでできずに不便。**

12月から、運動場やテニスコートなど一部施設のインターネット予約が可能となります。

この調査(住民意識調査)をインターネットで回答できるようにしてほしい。

同様の意見が複数ありました。次回の調査から、インターネットで回答ができるように検討します。

住民意識調査にご協力をいただき、ありがとうございました。調査結果の詳細は町ホームページに掲載しています。

問合せ

企画政策課政策グループ

☎(0564)62・1111(内線334)

FAX(0564)63・5139